


# 御嵩小校報

令和元年度 第7号 9月19日

のびよう きたえよう  
せい いっぱい

- ・みんなで学ぶ子
- ・たすけあう子
- ・けんこうな子



## 前期学校評価の結果及び保護者意見への回答①

7月に、保護者・児童を対象に学校評価アンケートを実施しました。今回の学校だより、そしてホームページで、結果を公開させていただきます。また、PTA役員会、学校運営協議会でもアンケート結果を話題にして学校改善に活かしていきます。ご協力、ありがとうございました。

- 1、達成度 ◎:90以上 ○:80以上 ー:75~80 ▲:75未満  
2、保護者からのご意見 ○:成果 ▲:課題 ◇:提言その他 3、→ 学校より回答

項目		評価指標	達成度	
学習指導	1 児童への指導	保護者 学校は、一人一人を大切にしたいきめ細かな指導をしている。	71 ▲	
		児童 自分のペースに合わせて学習しています。	87 ○	
	2 繰り返し学習	保護者 学校は、読み、書き、計算することなどの繰り返し学習を大切にしている。	81 ○	
		児童 計算や漢字、音読などをくりかえして学習しています。	81 ○	
	3 学び方	保護者 学校は、基本的な学習姿勢や話し方・聞き方の指導をしている。	76 -	
		児童 話す人に体をむけて聞いたり、目を見て話したりしています。	81 ○	
保護者・児童から	児童への指導	<p>○担任の先生をはじめ、多くの先生に気にかけていただき、毎日学校へ行くことを楽しいと言っています。○授業でも、書く力の弱いうちの子に、個別のノートを用意して頂き、丁寧な指導に感謝しています。○算数が苦手で、つまづくことが今までもよくありましたが、分かりやすく教えていただけているようで、がんばれていてありがたいです。○特にひらがなの指導について、とても丁寧に対応してくださっています。少し厳しく見られている気もしますが、先生の丁寧な文字を見て書くのでほとんど家で直すことがなく、このまま定着するといいなと思います。○先生の文字がとてもきれいで、子どもたちの直しも細やかなところまで見てくださり、本当にありがたいです。今後は漢字を習っていくと思いますが、今まで通り、ひらがなもチェックしていただければ助かります。(大変だと思うのでたまにいいです。)○国語が苦手で皆についていけないので、「ことばの教室」への案内はとてもありがたかったです。</p> <p>▲子どもが担任に持ち物のことで質問すると、「いちいち聞かないで。」と答える先生がいると聞きました。生徒が何人ものから対応が大変かもしれませんが、分からないから聞いているのに、この対応はひらがなのかと思いました。先生も人間、いろいろなこともあると思いますが、この対応では次から子どもたちも何も聞けなくなってしまうと思います。▲分からないところを先生に聞いたところ、「自分で考えて。」と言われたそうです。そのような対応だと聞くことができなくなってしまいます。「どうせ聞いても教えてくれないから。」と言っていました。もう少し自分の力で解けるようがんばってほしいということだったのかもかもしれませんが、「あと少し自分で考えてみようか。」「友達に聞いてみてそれでも分からなかったら聞いてね。」とか、言い方一つで子どもたちががんばれるのではないかと思います。▲ある学年では、トイレのスリッパの整頓ができていないと、子どもたちの知らないうちに先生がスリッパを取り上げていき、また知らない間に戻ってきている...という状況が繰り返されているようです。2足しかないときは休み時間内に間に合わずあきらめて教室に戻ることがあると、子どもが言っていました。これは正しい指導と言えるのでしょうか。</p> <p>→分からないことで困っている子どもへの対応としては確かにこれでは言葉足らずでした。一人一人の言葉を温かく受け止めるとともに、できないことについては子どもの目線に立って誠実に指導していくよう努めます。</p> <p>▲学校での決まりごとについて、先生によって言うことが違うと子どもたちは混乱しますので、徹底統一していただきたいと思っています。子どもに「知らない」とごまかされたり、細かいことで融通が利かなくなったりしたので困りました。良い悪いの基準ラインは人によって違うと思いますが、臨機応変な対応をお願いしたいと思います。ためなののはだめでいいですが、理由を聞けば納得できるように説明して頂きたいです。近年の教育環境の厳しさの中、先生方はアンテナを張り巡らせ、とても大変な思いをしているのは理解しているつもりです。</p> <p>→明らかなルールや方針が決まっているものは共通理解をして子どもたちにも示していけるよう努めます。例外的なケースや個に合わせた対応が必要な事態もありますので、そのような状況を想定してできるかぎり正しい判断をし「臨機応変な対応」ができるよう話し合いをしていきます。</p> <p>▲上の学年に進むほど学習面で難しくなってきたり理解できていないことも出てきたので、一人一人が理解できているか早めに確認して、次に進めてほしいです。</p> <p>→一人一人が理解できているかどうか、早く確認して進めていくことはとても重要ですので、算数での少人数編成や、学級担任以外の職員が支援に入るなど見届けのしやすい体制作り、授業内での確認問題による理解度の把握など工夫した手段をこれからもとっていきます。限りのある期間の中である程度の習熟をめざすためには、繰り返しの学習と単元を進めるスピードとのバランスが必要です。家庭学習での習熟が重要になる場合もありますので、ご協力をお願いいたします。</p>		
		繰り返し学習	<p>○けだやかのノートが2冊使用になり、1回目・2回目まで連続にならなかつたり、やっつかやらなかつたりが分かりやすくなったりしてとてもよいと思いました。○子どもの学年では、算数の単元ごとに冊子が配られますが、授業の内容を理解しているかどうか親子共々確認しやすいところがとても良いと思います。他教科でも取り入れてもらいたいと思いました。</p> <p>◇授業内で、読み、書き、計算等の復習をもっと取り入れてほしいと思います。</p> <p>◇学習面で繰り返してやりすぎている部分があると思うので、それをもう少し減らしてもレベルは保てるかと思えます。</p> <p>→過去に学んだことを繰り返して学んでいくこと、反復練習をしながら習熟していくことはもちろん大切です。同時に、新しい見方・考え方を取り入れたり、学んだことを応用して高いレベルに挑戦していく学習も大切で、これらは教科・単元・分野・時期などでバランスを取っていくべきであり、本校教師も工夫しながら実践しています。様々なお考えがあると思いますが、今後もご助言いただきたいと思います。</p> <p>◇宿題では、ドリルだけでなくいろいろな様式(文章問題、応用問題)を解く機会を与えて頂けたらと思います。いつも本当にありがとうございます。◇6年生への宿題を、けだ・かどから、問題を解く・直すという学習ができるように問題集などに替えて中学校に備えていくのはどうでしょうか。◇どの学年もけだ・かど2回ずつ必ずやる！というところを変えてほしいです。3年生以上はその代わりに自主学習ノートなどでもよいのではないのでしょうか？ 苦手なことに重点を置いたり、得意なことを伸ばしたりさせたいです。ドリルに追われてやりたい学習がなかなかできない現状です。</p> <p>&lt;児童&gt;高学年になったら、漢ドや計ドを自主学習にしてほしいです。</p> <p>→宿題の内容や取り組み方については、各学年とも毎年検討を重ね、ノートの在り方等について改良を重ねてきておりますが、まずは基礎・基本の定着をという考えからドリル学習がその中心になってきたことは確かです。今後、ご助言を参考に、方法・回数等について柔軟に考えていきます。</p>	
			学び方	<p>▲参観日を見ていても、子どもから話を聞いても、担任の先生からよく叱られていることが多いようです。子どもも悪いかもしれませんが、子どもの意識、注意を引く努力をして頂きたいです。叱るばかりではだめではないでしょうか。</p> <p>→子どもがいつも「叱られている」という印象を受けるような指導は慎み、楽しい気持ちでがんばろうと思えるような指導を心がけてまいります。</p> <p>▲宿題などのやり方で、どうすればよいのかよく分からない内容のときがありました。ノートの呼び方なども、先生の呼び方と実際の名前が違っていたりするのでどれのことか分からず困ることがありました。▲宿題が多いため、夕方の時間は忙しくてライララしてしまいます。▲家庭学習の量が多すぎると思います。音読も、昨年は長文を区切って読ませてくださったみたいですが、今年はそういった配慮がないようです。</p> <p>→宿題の出し方、取り組み方、量などは、繰り返し学習の欄にも記しましたように、様々な考え方があります。今後も検討を重ねながら、学年の発達段階に応じた学び方になるよう改善に努めます。また、内容が伝わらなかつたり、個に合った学び方になっていないような事態には対応したいと思っておりますので、担任にご相談ください。</p> <p>◇外国籍の児童と、外国の文化と一緒に学べる機会があるとういのではないのでしょうか。</p> <p>→よい提案をありがとうございます。6年生の総合的な学習の時間や英語などの授業で考えていきます。</p> <p>&lt;児童&gt;・本を1日に2冊借りられるといいです。・本を借りられる期間を長くしてほしいです。・本を増やしてほしいです。</p> <p>→今学期より、2冊ずつ借りられるように改善しました。また、図書館の本は補助金の利用で増やすことができました。</p>

生徒指導	4	充実感	保護者	お子さんは、楽しく生き生きと学校へ通っている。	79	-	
			児童	学校に楽しく通っています。	85	○	
	5	自己存在感	保護者	教職員は子どもの声に耳を傾け、一人一人のよさを大切にしている。	71	▲	
			児童	自分の思いを先生に進んでお話します。	77	-	
	6	いじめ・差別	保護者	学校は、いじめや差別のない温かい学級・学校づくりに取り組んでいる。	70	▲	
			児童	いじめたりいじめられたりしないで、仲よく生活しています。	82	○	
	7	言葉づかい・挨拶	保護者	お子さんは、よい言葉遣いや気持ちのよい挨拶が身に付いている。	67	▲	
児童			いつでもだれにでも、気持ちのよいあいさつをしています。	83	○		
保護者・児童から	自己存在感	充実感	○子どもから話を聴いている分には学校はとっても楽しそうで問題はないと思います。 ○いつもお世話になっております。毎日楽しく学校に行っているようです。親としては一番ありがたいことだと思っております。本当にありがとうございます。 ○うちの子は元気に楽しそうに毎日学校へ行かせていただいています。ありがとうございました。				
		いじめ差別	○いつも担任の先生には、丁寧に子どものことを見ていただき感謝しています。子どもも先生のことが大好きで、褒めてもらったときには家で嬉しそうに話してくれます。 ○担任の先生は、多数の子どもに対し細かく指導されているのをごいふあと授業参観で感じました。悪いところはその場で注意し、良いところはほめてくれている姿に、ありがたいと思いました。娘も「今日は先生がほめてくれたよ!!」「今日はおしゃべりして注意されたよ!!」と話してくれるので、ちゃんと指導していただいているなあと感謝です!!他の先生方にも優しく接していただいているようで、「今日は○○先生と話したよ。」と、いろんな先生方の名前が子どもから聞けます。ありがとうございます!!				
		言葉遣い挨拶	▲子どもと親の意見に耳を傾けてくれない先生がいるという話を聞きました。しっかり話を聞いて問題を解決してくれると良いと思います。▲友人関係の意見を相談しても、話を全部聞いてくれないから、先生に話しても無駄だと感じていました。▲子ども一人一人の意見を先入観なしで聞いてほしいです。周りのうわさなどや親の一方的な意見で一人の子を悪者にしないでください。◇クラスのことをよく分かっているのは子どもたちと担任の先生のはずなのに、保護者からの意見で方向性を決めるのはどうかと思います。そのような学校の対応だと、いつまでも親が出ていくことになってしまい、子ども自身も親を頼らざるを得ないし、何より我慢して何も言わない子ばかりが負担を負うことになるのではないのでしょうか。問題が多いのであれば、補助の先生についてももう少し対策が必要ではありませんか。 →子どもや保護者からの話に耳を傾けるのは当然のことですので、公平な人権感覚をもってご意見を受け入れていくよう努めます。また、対策や実態の報告を、通信等の手段でできるかぎり伝えていきます。学校は一つのチームとして、子どもの教育のために必要な人員配置やフォロー体制を作りたいと考えていますので、今後もご意見ください。				
		言葉遣い挨拶	▲PTAの委員として学校を訪問した際、一部の先生とお会いしましたが、一言もあいさつされませんでした。日頃、子どもたちに挨拶を徹底しているというお手紙を拝見しますが、それではよろしいですか。 →公人としてこのような失礼な態度があったのであれば猛省を促していきます。まことに申し訳ありません。 ▲子どもにはもう少し挨拶の大切さと礼儀を身に付けてほしいと思います。大人になっても、勉強ができません、これはやらなければいけないことの一つです。お願いします。◇挨拶・礼儀の設問にDをつけましたが、これは子どもの能力的な問題もあり、注意や躾だけでは身に付かないこともあると感じています。家庭内での行き届かない部分のD評価です。 →子どもたちにはその大切さを指導し続けていくわけですが、もちろん日々の実践として確実に挨拶や礼儀正しい態度のとれる子ばかりではありません。現場で気付いたときに、即、指導・助言を行っていくことが大切かと思えます。ご協力をよろしくお願いします。				
進路	8	キャリア教育	保護者	お子さんは、目標をもち、その達成に向けてねばり強く努力している。	67	▲	
児童			自分もあのようになりたいと、めあてをもって生活しています。	84	○		
安全管理	9	安全な生活	保護者	お子さんは、安全に気を付けて生活している。	77	-	
			児童	安全に気を付けて登下校や生活をしています。	92	◎	
			保護者	学校は、命を守る訓練を行うなど、非常時への対策を講じている。	81	○	
保護者から	10	危機管理	児童	災害にそなえ、命をまもるくんれんなどを真剣に取り組んでいます。	94	◎	
			安全な生活	○分団登校での班長・副班長のおかげで毎日安全に学校へ行けること、感謝しています。 ◇分団への指導をもう少し厳しくできないでしょうか。道路を渡る際、列が長くばらばらになっていて、渡り終えたと判断した車が動き出した後、後ろの子どもがかわって渡ろうとしたのを見た。危険でした。◇1年生の下校で、人数が多すぎて道路がいっぱいに広がって、後ろに車が来て道路をふらふら歩いていたり危ないです。もう少し人数を減らしたほうがいいのではないのでしょうか。◇一斉下校の日、旧21号線を一人で横断している1年生の子を見かけました。ランドセルを背負っていたので下校途中中だと思いましたが、周りに上級生は見えませんでした。私も運転中で声をかけることができなかったのが申し訳ないですが…。場所は、顔戸の横断歩道手前200mほどの横断歩道ではない所でした。そして、カーブの所で見通しも悪く、とても危ないと思います。 →学校では、全体への指導、個別の分団への指導を行うと共に、低学年に対する安全指導や巡回等も行ってきましたが、今後も継続していきます。いろいろなところで小学生の安全に目を配っていただき、ありがとうございます。今後、可能でしたら、小学生にも気付かれたその場でご指導いただけたらありがたいです。また、下校等の見守りについては、学校からも「応援隊」という形で人員を求めようとしています。よろしくをお願いします。 ◇生徒指導通信で「分団登校のリーダーの責任について」という内容を度々目にしますが、分団リーダーの子はその責任の重さからなのか、「責任＝厳しく言うこと」という勘違いで理解しているのか、分団メンバーに、安全でないことでもかなり厳しい口調で言っているように思います。異年齢集団が大切だということも十分承知していますが、合わせられる子、そうでない子、様々だと思います。朝の登校時間は、どの子も家を出て学校でがんばるモードに気持ちを切り替える大切な時間だと思いますが、その時に必要以上に厳しく言われたら、学校に行くのも嫌になるのではないのでしょうか。安全はもちろんかもしれませんが、もう少し寛容さを大切にしたご指導をいただけたらとても助かります。それでも無理な場合は、分団登校という形にこだわらず、別々に登校するという方法もありませんでしょうか。◇朝の登校で、高学年の歩くスピードが速すぎて、入学してから今までに何回も転んでけがをして学校へ行っています。高学年の子たちは優しくて、けがをしたら心配はしてくれるのですが、遅れないようにという責任感からか、どうしても速く歩いてしまっています。学校にも必要以上に早く着いているので、もう少しスピードを考えてほしいです。 →分団のリーダーは、安全について厳しく見ようとしている点は正しいのですが、分団メンバー・下級生に対する表現や接し方に配慮が足りない現状もあるようです。毎日形成される安全のための集団でありますので、互いに信頼感のもてる集団になれるよう、声の掛け方についても指導していきます。 ▲ある分団のトラブルがあり、学校の対応に不安と違和感を感じました。一部の生徒の話だけで一方的な指導・解決策の提示があり、残念に思うことがありました。学校だけでは対応は大変だと思いますが、もう少し現状を把握した上での解決策の提示・指導をお願いしたいです。 →分団内の事情に関しては十分な聞き取り・調査をしたはずでありましたが、結果的に現場の把握が不十分であったということ、たいへん申し訳なく感じています。異学年・男女の混合集団として必要な礼節やふるまいについては指導を継続していきます。 ◇自分の子どもに原因があることは分かっていますが、学校で起きていることは親には分からないので、なるべく学校で解決して頂きたいです。夕方、学校からの電話の回数が多いと、正直、ストレスに感じます。自分の子どもにも日頃から問題を起こさないように気を付けることを声掛けしています。 →学校内で何らかの問題が生じた場合、それがお子さんに関わることであれば当然お知らせします。また、問題というほどのことでなくとも、学校でのお子さんの様子について保護者に承知しておいていただきたいことは知らせています。保護者の皆様と学校、そして地域が一つになって子どもを育てていければと思いますので、よろしくをお願いします。			
			危機管理	○夏休みのプール開放がなくなり、安心しています(子どもは残念そうですが…)。昨年のような猛暑では、行き帰りのことなど、親としてとても心配でした。あと、早めに決定して頂けて、子ども親も「今日はあるだろうか…?」と毎日心配しなくても良いし、一日の予定が立てやすいので助かります。 ○夏休みのプールがなくなったのはすごく良いです。夏休み明けにもプールの授業を入れてほしいです。 ▲急な土砂降りなど、学校から緊急メールがない場合の送迎や、プールでのゴーグルを着ける際の判定の件など、先生によって返答の違うことが多いです。土砂降りやプールなど(毎年変更があるかもしれませんが)、シーズンが始まる前に学校でよく話し合い、全学年が共通した内容で対応してほしいです。 →教師からの指示や注意が統一性を欠いたことについてはお詫びいたします。学校の中での共通理解を大切にすることはもちろん、通常と違う事態に関しては、窓口をなるべく統一して異なる見解があるべく生まれないようにしていきます。			